

2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域のみちづくりに関する現状と課題

- 港湾や広域交通拠点へのアクセス強化による**物流等の迅速化・円滑化**
- 中山間等の拠点間の道路整備による**交流・連携の強化**
- バイパス整備等による**渋滞対策の推進**
- 歩道の整備等による**交通安全対策の推進**
- 緊急輸送道路等の**橋梁の耐震補強**
- 離島架橋をはじめとした**道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等**

求められる主要な取組



臨海部の物流の円滑化

徳山下松港

平成23年に宇部港とともに「国際パルク戦略港湾(石炭)」に選定されており、大型船舶での大量一括輸送により、我が国産業に必要不可欠な石炭やバイオマスを安定的かつ安価に供給し県内企業の国際競争力を強化する役割が期待されています。

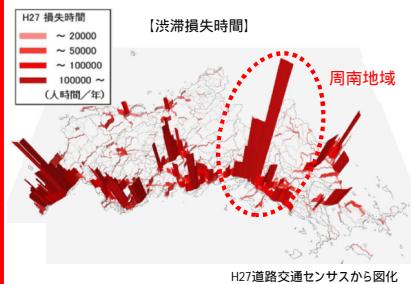
本港は背後地域を中心とした県内産業の基盤として、また物流の拠点としての役割を強く要請されていますが、臨海部エリアから、山陽自動車道や国道2号などの幹線道路への円滑なアクセスが確保されていないことから、こうした課題を解消し、物流の一層の円滑化を図る必要があります。



市街地の慢性的な渋滞

当該地域は、徳山下松港(国際拠点港湾)、JR山陽新幹線徳山駅、山陽自動車道徳山IC等の広域交通拠点が整備されている交通の要衝です。

しかしながら、市街地では、域内交通と通過交通の混在により、渋滞が発生しており、これらの解消が喫緊の課題です。

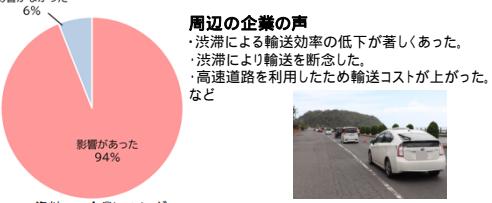


災害等による通行規制

周南市と光市、田布施町を結ぶ主要幹線道路は、海岸部に位置する国道188号のみであり、台風時の越波や土砂災害等により交通が遮断されると、通勤・通学や物流などに大きな影響を与えます。

また、中山間部と市街地を結ぶ国道315号の河内井や栄谷などにおいては、積雪・凍結により安全な通行に支障をきたしており、災害時にも機能する信頼性の高い道路網の確保が求められています。

【H30.7災害に伴う国道188号(下松・光間)の交通規制の影響】



2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

産業・地域を「支える」

物流等の迅速化・円滑化	3-a 周南道路(下松～光間含む)
特殊車両通行許可制度の改善等	3-b 県道下松新南陽線
○交流・連携の強化 ○バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進	
等	

人々のいのちを「守る」

○生活道路等における交通安全対策の推進	3-c 県道久杉高水停車場線
	3-d 県道徳山新南陽
等	

災害に「備える」

○広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備	3-e 国道315号
防災・減災対策の推進	県道徳山下松線
橋梁の耐震補強	
等	

未来に「つなぐ」

○老朽化した道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等	県道串夜市線
日常的な維持管理の充実・効率化	県道徳山徳地線
異常気象時等の対応	
等	

その他、中国縦貫自動車道、山陽自動車道へのスマートインターチェンジの設置



道の駅
市役所等

主な整備箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
3-1	国道2号 (富海拡幅)	現道拡幅	完成(R7)	●	●	●	
3-2	国道434号 (水越拡幅)	現道拡幅	完成(R4)	●		●	
3-3	県道徳山光線 (阿田川～中須南)	バイパス	事業継続	●		●	
3-4	県道鹿野吉賀線 (鹿野上)	現道拡幅	事業継続	●		●	
3-5	県道光柳井線 (虹ヶ丘)	バイパス	事業継続	●	●	●	
3-6	県道串戸田線 (木屋ヶ迫～袖河内)	バイパス	完成(R4)	●	●	●	
3-7	県道串戸田線 (打木野)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	
3-8	県道新南陽津和野線 (下上野)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	
3-9	県道光日積線 (岩田)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	
3-10	県道光玖珂線 (島田)	自歩道整備	完成(R6)	●	●	●	
3-11	県道光玖珂線 (虹川)	歩道整備	事業継続	●	●	●	
3-12	都計道川園線 (県道徳山光線) (浅江～木園一丁目)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	
3-13	都計道国道山手線 (県道下松新南陽線) (清瀬町～末武中)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	
3-14	都計道中央通線 (県道下松新南陽線) (久米)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	
3-15	都計道新南陽停車場線 (県道新南陽津和野線) (政所～下上)	自歩道整備	完成(R3)	●	●	●	
3-16	県道笠戸島線 (笠戸島)	のり面対策	事業継続			●	
3-17	県道徳山下松線 (切戸大橋)	耐震化	事業継続			●	
3-18	国道489号 (津浦ヶ野トンネル)	長寿命化	完成(R4)				●
3-19	県道笠戸島公園線 (笠戸大橋)	長寿命化	事業継続				●
3-20	都計道中央通り線 (県道下松新南陽線) (西千代田町～吉川町)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	
3-21	県道新南陽津和野線 (下上德善)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

2 主な整備箇所(地域版)

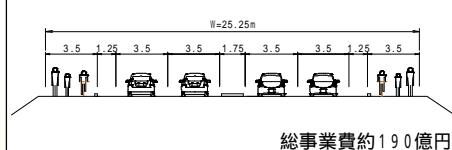
3 周南地域の主要な整備箇所

3-1 国道2号(富海拡幅)

概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 3.6 km
幅 員	W = 25.25 m
着 手 年 度	平成23年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 防府市から周南市間における国道2号の渋滞を緩和します。
- ◆ 線形不良箇所の解消や中央分離帯を設置し、安全で円滑な交通を確保します。

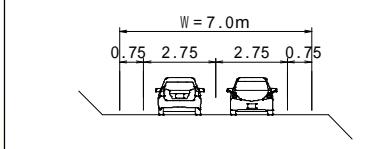


3-2 434 国道434号(水越拡幅)

概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 1.0 km
幅 員	W = 7.0 m
着 手 年 度	平成28年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 見通しの悪い箇所を解消します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

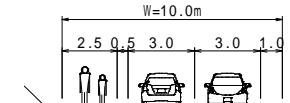


3-3 県道徳山光線(阿田川～中須南)

概要

内 容	バイパス
延 長	L = 1.3 km
幅 員	W = 10.0 m
着 手 年 度	平成11年度

【標準断面図】



総事業費約7億円



部分完成区間



目的(効果)

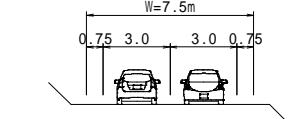
- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 国道376号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。

3-4 12 県道鹿野吉賀線(鹿野上)

概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 0.4 km
幅 員	W = 7.5 m
着 手 年 度	平成27年度

【標準断面図】



整備箇所

目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 温泉施設やオートキャンプ場等の観光施設へのアクセス性を向上します。
- ◆ 旧鹿野町市街地へのアクセス性を向上します。



2 主な整備箇所(地域版)

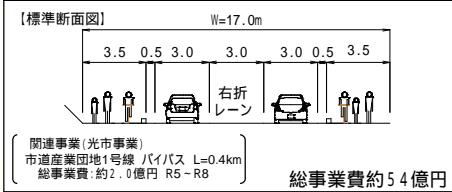
3 周南地域の主要な整備箇所

3-5 22 県道光柳井線(虹ヶ丘)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	バイパス
延 長	$L = 0.8 \text{ km}$
幅 員	$W = 17.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成27年度



目的(効果)

- ◆ 光市街地の渋滞を緩和します。
- ◆ 国道188号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。

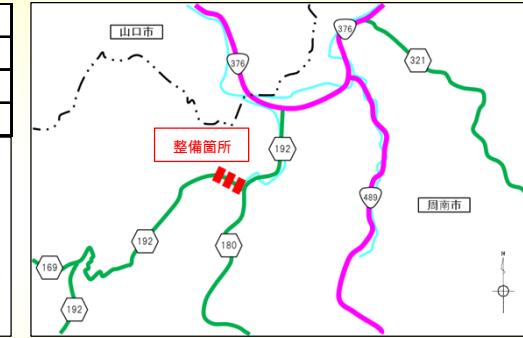
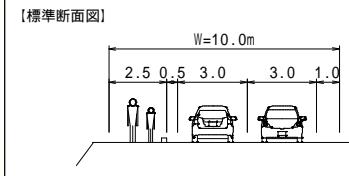


3-7 192 県道串戸田線(打木野)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	現道拡幅
延 長	$L = 0.58 \text{ km}$
幅 員	$W = 10.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成15年度



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。

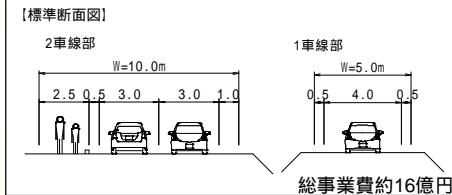


3-6 192 県道串戸田線(木屋ヶ迫~柚木河内)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	バイパス
延 長	$L = 2.3 \text{ km}$
幅 員	$W=10.0 \text{ m}, 5.0 \text{ m}$ (1.5車線的道路整備)
着 手 年 度	平成13年度



R4
完成



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 湯野温泉や病院、リハビリ施設へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。

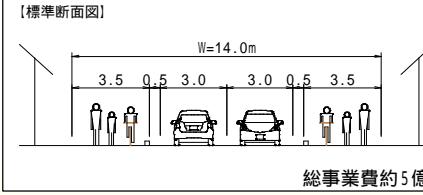


3-8 3 県道新南陽津和野線(下上上野)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.2 \text{ km}$
幅 員	$W = 14.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成30年度



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域の主要な整備箇所

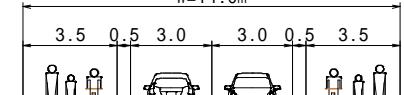
3-9 県道光日積線(岩田)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.6 \text{ km}$
幅 員	$W = 14.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成29年度

【標準断面図】 $W=14.0 \text{ m}$



総事業費約13億円



目的(効果)

- 岩田駅周辺地区の「コンパクトなまちづくりモデル事業」と連携し、地区内の道路を整備することで、快適で便利なまちづくりを推進します。
- 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

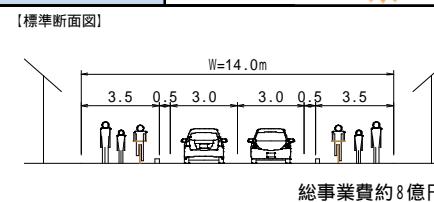
3-10 県道光玖珂線(島田)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.8 \text{ km}$
幅 員	$W = 14.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成24年度

R6
完成



目的(効果)

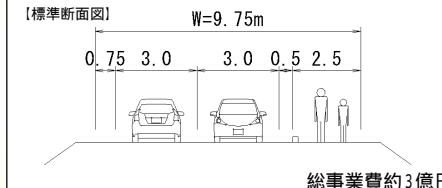
- 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。

3-11 県道光玖珂線(虹川)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	歩道整備
延 長	$L = 0.3 \text{ km}$
幅 員	$W = 9.75 \text{ m}$
着 手 年 度	平成23年度



目的(効果)

- 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- 線形を改良し、安全で円滑な交通を確保します。

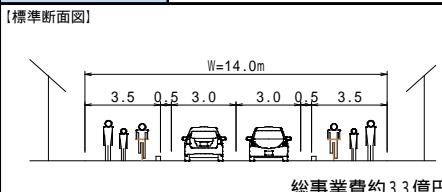
3-12 都計道川園線(浅江～木園一丁目)

8 県道徳山光線

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.8 \text{ km}$
幅 員	$W = 14.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成27年度



目的(効果)

- JR山陽本線と立体交差化し、踏切事故の危険性を解消するとともに、円滑な交通を確保します。
- 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域の主要な整備箇所

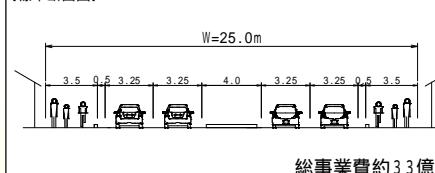
3-13 都計道国道山手線(清瀬町~末武中)

347 県道下松新南陽線

概要

内 容	現道拡幅
延 長	$L = 1.0 \text{ km}$
幅 員	$W = 25.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成26年度

[標準断面図]



支える 守る 備える つなぐ

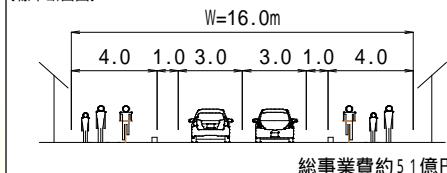
3-15 都計道新南陽停車場線(政所~下上)

347 県道新南陽津和野線

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.8 \text{ km}$
幅 員	$W = 16.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成5年度

[標準断面図]



R3
完成



目的(効果)

- ◆ 下松市から周南市間における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

3-14 都計道中央通線(久米)

347 県道下松新南陽線

概要

内 容	現道拡幅
延 長	$L = 0.6 \text{ km}$
幅 員	$W = 25.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成26年度

[標準断面図]



支える 守る 備える つなぐ

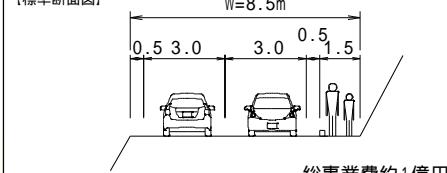
3-16 173 県道笠戸島線(笠戸島)

山口

概要

内 容	のり面対策
延 長	$L = 0.05 \text{ km}$
幅 員	$W = 8.5 \text{ m}$
着 手 年 度	平成30年度

[標準断面図]



支える 守る 備える つなぐ

目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。

目的(効果)

- ◆ 下松市から周南市間における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域の主要な整備箇所

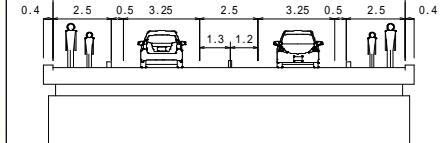
3-17 366 県道徳山下松線(切戸大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	耐震化
延 長	$L = 0.3 km$
幅 員	$W = 15.0 m$
着 手 年 度	平成26年度

【標準断面図】 $W=15.0m$



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけではなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。

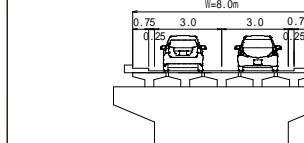
3-19 174 県道笠戸島公園線(笠戸大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	長寿命化
延 長	$L = 0.5 km$
幅 員	$W = 8.0 m$
着 手 年 度	平成23年度

【標準断面図】



総事業費約13億円



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

3-18 489 国道489号(津浦ヶ峠トンネル)

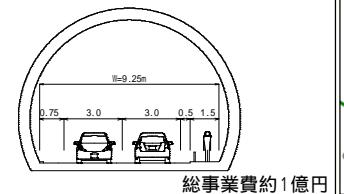
支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	長寿命化
延 長	$L = 0.6 km$
幅 員	$W = 9.25 m$
着 手 年 度	平成29年度

R4
完成

【標準断面図】 $W=9.25m$



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。

3-20 都計道中央通り線(西千代田町~古川町)

347 県道下松新南陽線

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	現道拡幅
延 長	$L = 0.7 km$
幅 員	$W = 23.0 m$
着 手 年 度	令和5年度

【標準断面図】 $W=23.0m$



総事業費約34億円



目的(効果)

- ◆ 周南市街地における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域の主要な整備箇所

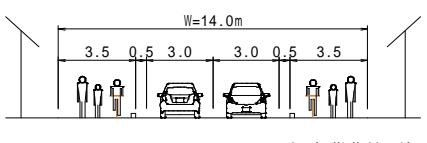
3-21 ③ 県道新南陽津和野線(下上徳善)

支える	守る	備える	つなぐ
-----	----	-----	-----

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.2\text{ km}$
幅 員	$W = 14.0\text{ m}$
着 手 年 度	令和6年度

【標準断面図】



W=14.0m

総事業費約6億円

目的(効果)

◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の通行の安心・安全な交通環境を確保します。

